TOKYO NATIONAL MUSEUM NEWS

東京国立博物館ニュース

2015 2016
12-1
展示と催し物案内
第734号

2-3 「博物館に初もうで」／4 特別展「始皇帝と大兵馬俑」
5 特別展「生誕150年 黒田清輝 ―日本近代絵画の巨匠」
特別展「黄金のアフガニスタン―守りぬかれたシルクロードの秘宝―」
6-11 総合文化展 ／11 保存と修理情報㉜／12-13 みどりのライオン 教育普及事業
14-15 イベント＆インフォメーション ／16 2015年12月・2016年1月の展示・催し物

新年は「猿の楽園」へ！

トーハクに初もうで

TNM

にっぽんのお正月を味わおう

博物館に初もうで

トーハクでは、「凱風快晴」や国宝「松林図屏風」をはじめとする名品の新春特別公開と、吉祥をテーマにした作品、干支の申にまつわる特集など、お正月らしい作品の数々で皆さまをお迎えします。また、和太鼓や獅子舞などの伝統芸能もお楽しみいただけます。ぜひ「トーハク詣で」にお越しください！

2016年
1月2日(土)～
1月31日(日)

東京国立博物館公式キャラクター

初夢みるならトーハクへ！

新春特別公開も吉祥も。お正月の展示から、新年にこそ見たいおめでたい作品を集めました！

一、富士

特 富嶽三十六景・凱風快晴

葛飾北斎筆　江戸時代・19 世紀
本館 10 室　1 月 2 日（土）～ 1 月 17 日（日）
快晴の朝、赤く輝く姿が北斎によって力強く描かれています

二、鷹

（部分）

○鷹山水図屏風

雪村周継筆　室町時代：16 世紀
松永安左エ門氏寄贈
本館 3 室　12 月 8 日（火）～ 1 月 17 日（日）
躍動する自然界の一瞬一瞬を切り取るように描いています

三、茄子

茄子に黄金虫水滴

江戸時代・18 ～ 19 世紀
渡邊豊太郎氏・渡邊誠之氏寄贈
本館 13 室　1 月 2 日（土）～ 4 月 17 日（日）
茄子と黄金虫はともに縁起の良いモチーフですが、これを組み合わせた銅の造形がユーモラス！

特集 博物館に初もうで 猿の楽園

いろんなお猿が大集合！

古来より人は猿に親しみを覚え、多彩な表現で多くの作品を生み出してきました。この特集では「愛らしさ」、「毛並み」、「群れ」、「人と猿」のテーマに分け、かわいらしさもって描かれた猿から、体毛が緻密に描かれた猿、寓意のなかの猿などの作品を展示し、猿のさまざまな表現をご覧いただきます。申年のお正月、人と猿の関わりから生み出された猿の楽園が待っています。（酒井元樹）

本館
特別1室・特別2室
2016年
1月2日(土)
～
1月31日(日)

千疋猿透鐔
（同大小鐔のうち）

矢上光広作　江戸時代・19 世紀
密集して群れをなす特徴的な作風は「矢上の千匹猿」といわれています

（部分）

猿猴図

狩野山雪筆
江戸時代・17 世紀
植松嘉代子氏寄贈
おサルの微笑み。400 年前、こんなにかわいい絵が描かれていました

正月限定！　カレンダー付ワークシート

キミはなに猿？&狩野山雪の猿カレンダー

「博物館に初もうで」の会期中、特別 1 室で先着 10,000 名様にワークシートをお配りします。特集「猿の楽園」で遊ぶ 4 匹の猿の種類をあててください。1 月 2 日、3 日はかわいいお猿のスタンプコーナー（本館 2 階 階段上 11:00 ～ 16:00）も設置。自分だけのワークシートを完成させましょう。裏面は、狩野山雪筆の猿（写真左）をデザインしたカレンダーになっています。

松

（右隻）

特 ◉松林図屏風

長谷川等伯筆　安土桃山時代・16 世紀
本館 2 室　1 月 2 日（土）～ 1 月 17 日（日）
等伯の代表作であるばかりでなく、日本水墨画の代表作です

（部分）

特 ◉楼閣山水図屏風

池大雅筆　江戸時代・18 世紀
團伊能氏寄贈
本館 7 室　1 月 2 日（土）～ 1 月 24 日（日）
輝く金地、澄んだ色彩、躍動する筆の力をお確かめください

宴

鶴

特 ◎小袖 染分綸子地桜松鶴模様

江戸時代・17 世紀　文化庁蔵
本館 10 室　1 月 2 日（土）～ 3 月 6 日（日）
江戸時代初期とは思えない抽象的な赤・黒・白の染分が斬新！！

若松

◎色絵若松図茶壺

仁清　江戸時代・17 世紀　文化庁蔵
本館 13 室　～ 1 月 17 日（日）
仁清の色絵茶壺の代表作。肩衝茶入のような独特の形が印象的です

干支

◎十二神将立像 申神

京都・浄瑠璃寺伝来 鎌倉時代・13 世紀
本館 11 室　1 月 2 日（土）～ 4 月 17 日（日）
赤い顔、見開いた目、大きく歪めた眉や口。猿をイメージしています

（部分）

新春イベント

1 月 2 日（土）

10：30　**和太鼓**　批魅鼓（ひみこ）　本館前
11：15　**曲独楽**（きょくごま）　三増紋之助　平成館ラウンジ
12：00　**獅子舞**　東都葛西囃子中村社中　本館前
13：00　**和太鼓**　批魅鼓　本館前
13：45　**曲独楽**　三増紋之助　平成館ラウンジ
14：30　**獅子舞**　東都葛西囃子中村社中　本館前

1 月 3 日（日）

10：30　**和太鼓**　湯島天神白梅太鼓　本館前
11：10　**曲独楽**　三増紋之助　平成館ラウンジ
11：50　**クラリネット・コンサート** ジュリアンズ 平成館ラウンジ
12：30　**獅子舞**　東都葛西囃子中村社中　本館前
13：10　**和太鼓**　湯島天神白梅太鼓　本館前
13：50　**曲独楽**　三増紋之助　平成館ラウンジ
14：30　**クラリネット・コンサート** ジュリアンズ 平成館ラウンジ
15：10　**獅子舞**　東都葛西囃子中村社中　本館前
※雨天時は、場所を変更、または中止になることがあります。

寛永寺根本中堂特別参拝

1 月 2 日（土）、3 日（日）　10：00 ～ 15：00
根本中堂、徳川歴代将軍の肖像画（油画）、四天王像（江戸時代・元和 6 年〈1620〉台東区登録文化財）、十二神将像（江戸時代・元禄 15 年〈1702〉）を公開。当館観覧券の半券（当日分）の提示で散華（さんげ）をお配りします。

ミュージアムシアター 無料上演

1 月 2 日（土）、3 日（日）　11:00、12:00、13:00、14:00、15:00、16:00　※上演時間を一部変更する場合があります。
VR 作品『伊能忠敬の日本図』
定員：各回ともに 90 名

いけばな

1 月 2 日（土）～ 1 月 11 日（月・祝）
真生流　山根由美氏

ミュージアムショップからお年玉

1 月 2 日（土）、3 日（日）
2,000 円以上お買い上げのお客様、先着 600 名様にミュージアムグッズをプレゼント。
1 月 2 日（土）、3 日（日）
美術図書バーゲンセール

ホテルオークラ レストラン ゆりの木からプレゼント

1 月 2 日（土）、3 日（日）
ゆりの木ご利用のお客様、先着 150 名様に伊予の水引の箸置きをプレゼント。

※◉は国宝、◎は重要文化財、○は重要美術品を表します。　特は新春特別公開の作品です。　特に表記のないものは東京国立博物館蔵です。

特別展

始皇帝と大兵馬俑

THE GREAT TERRACOTTA ARMY OF CHINA'S FIRST EMPEROR

平成館特別展示室 | 10月27日(火)～2016年2月21日(日)

「秦」のサクセス・ストーリーにも注目！

いよいよ始まった「兵馬俑」展。10体の兵馬俑やレプリカを使った発掘現場「兵馬俑坑」の再現展示など魅力満載ですが、始皇帝による天下統一の背景にあった「秦」という国についてはご存知ですか。展示作品から見えてくる、秦のサクセス・ストーリーにも注目です。

Q1 秦ってどんな国？

A1 中国では紀元前770年から多くの国々が争う戦乱の時代（春秋戦国時代）になりました。最後まで戦いを勝ち抜き、前221年に天下を統一した国が秦です。そのときの君主が始皇帝でした。

両詔権

出土地不詳　秦時代・前3世紀　秦始皇帝陵博物院蔵
© 陝西省文物局・陝西省文物交流中心・秦始皇帝陵博物院

重さの基準となった分銅。表面の銘文には、始皇帝が国ごとに異なっていた重量制度を統一した、とあります

Q2 秦はどうやって強くなったの？

A2 西周という過去の王朝の権威ある文化を模倣し、他国から有能な人材を登用して「富国強兵」の政治改革を行いました。また、異文化と早くから接し、良質な馬や新しい情報などを得ていました。

秦公鐘　宝鶏市陳倉区楊家溝太公廟村出土
春秋時代・前8～前5世紀　宝鶏青銅器博物院蔵
© 陝西省文物局・陝西省文物交流中心

秦の君主が先祖を祭る儀式に用いた神聖な鐘。西周の鐘を模して作ったものと考えられます

Q3 秦が触れていた「異文化」って？

A3 古代中国西北部の高原や草原には、馬や羊を飼って暮らす遊牧民がいました。金銀の装飾品や短剣などにその特徴がみられます。平原で農耕を営んだ当時の中国文化圏を特徴づける、祭祀用の青銅器や漢字などは使いませんでした。

玉剣・金剣鞘

韓城市梁帯村27号墓出土　春秋時代・前8～前7世紀　韓城市梁帯村古墓葬群文物保護管理所蔵
© 陝西省文物局・陝西省文物交流中心

鞘つきの短剣は、北方草原に広がった遊牧文化のもの。秦でも近似した短剣が使われました

| 開催概要 | 主催：東京国立博物館、陝西省文物局、陝西省文物交流中心、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社／後援：中国大使館／協賛：野崎印刷紙業／協力：全日本空輸／観覧料：一般1,600円（1,300円）、大学生1,200円（900円）、高校生900円（600円）＊（）内は20名以上の団体料金　＊中学生以下無料　＊障がい者とその介護者1名は無料（入館の際に障がい者手帳などをご提示ください）／お問合せ：ハローダイヤル　03-5777-8600／展覧会公式サイト：http://heibayou.jp/

関連企画

みんなで兵馬俑

兵馬俑坑の再現エリアでは記念撮影ができます。レプリカの兵馬俑たちと一緒に写真を撮ったあとは、ぜひ、写真投稿アプリ、インスタグラムに写真を投稿してください。ハッシュタグは「#みんなで兵馬俑」です。あなたの投稿写真が兵馬俑展公式サイトに載るかもしれません。みんなでバーチャル兵馬俑坑を作りましょう！

＊記念撮影コーナーは展覧会場内にあるため、本展観覧券が必要です。

※画像はイメージです。

特別展

生誕150年 黒田清輝

――日本近代絵画の巨匠

平成館 特別展示室	2016年3月23日(水)～5月15日(日)

黒田清輝（くろだせいき）の生誕 150 年を記念した展覧会を開催！
今回は代表作のなかから切手や教科書でも親しまれている「湖畔」と、フランス留学中の作品「読書」をご紹介します。

日本美術の近代化のために力を尽くした黒田清輝（1866－1924）の画業全体を振り返る大回顧展です。フランスへ留学した黒田は、師ラファエル・コランや同時代のフランス絵画に刺激を受けながら、サロンに入選を果たします。帰国後には黒田の画風が、日本の洋画界に新風を吹き入れました。そして黒田は日本洋画のアカデミズムを築き、日本美術を国際的に認められるものとしようと苦闘しながら制作にはげんだのです。

（松嶋雅人）

読書
黒田清輝筆
明治 24 年(1891)

サロンに初入選を果たしたフランス画壇における黒田のデビュー作。パリ南東の小村グレー＝シュル＝ロワンの娘マリア・ビヨーが読書に耽っています。鎧戸から差し込む柔らかな光は、マリアの赤いブラウスや紺のスカートで繊細に変化し、肌の色に映えています。グレー時代にしばしばモデルとして登場するマリアへ向ける黒田の親しい視線を感じます。

◎湖畔
黒田清輝筆　明治 30 年 (1897)

黒田が後に妻となる23歳の種子（のちに照子）と箱根へ避暑に訪れた時に描いた作品。芦ノ湖畔の岩に腰掛け、団扇を持つ浴衣姿の種子を、日本の大気と光がしっとりと包み込んでいます。日本独自の洋画表現を目指した黒田の一つの到達点といっても過言ではありません。1900年のパリ万国博に出品され、世界に日本の洋画を問うた作品です。

| 開催概要 | 主催：東京国立博物館、東京文化財研究所、朝日新聞社、NHK、NHKプロモーション／協賛：大日本印刷／協力：あいおいニッセイ同和損保／観覧料金：一般1,600円（1,400円／1,300円）、大学生1,200円（1,000円／900円）、高校生900円（700円／600円）　＊（　）内は前売／20名以上の団体料金　＊中学生以下無料　＊障がい者とその介護者1名は無料（入館の際に障がい者手帳などをご提示ください）／お問合せ：ハローダイヤル 03-5777-8600／展覧会公式サイト：http://www.seiki150.jp/

特別展

黄金のアフガニスタン

守りぬかれたシルクロードの秘宝

表慶館	2016年4月12日(火)～6月19日(日)

内戦やテロが続くなか、勇気ある博物館員によって秘密裏に救出されたアフガニスタンの至宝231件。黄金の装身具に代表される数々の出土品から、「文明の十字路」として繁栄した同国の文化に迫ります。これに加え、アフガニスタンから不法に持ち出され、日本で「文化財難民」として大切に保管されてきた流出文化財の一部を合わせてご紹介します。

（小野塚拓造）

冠
1世紀　ティリヤ・テペ出土
アフガニスタン国立博物館蔵
©National Museum of Afghanistan / Thierry Olivier

| 開催概要 | 主催：東京国立博物館、アフガニスタン・イスラム共和国情報文化省、産経新聞社、フジテレビジョン／後援：外務省、駐日アフガニスタン・イスラム共和国大使館／特別協力：文化庁、東京文化財研究所、文化財保護・芸術研究助成財団、日本・アフガニスタン協会／協賛：ダイハツ工業、ヤマザキナビスコ／協力：ナショナル・ジオグラフィック、日本通運、損害保険ジャパン日本興亜、大伸社／観覧料金：一般1,400円（1,200円／1,100円）、大学生1,000円（800円／700円）、高校生600円（400円／300円）／＊（　）内は前売／20名以上の団体料金。中学生以下無料　＊障がい者とその介護者1名は無料／お問合せ：ハローダイヤル 03-5777-8600／展覧会公式サイト：http://www.gold-afghan.jp/

注目の特集

おめでたい意匠で新年を祝う

特集「寿ぎと絵替わりの美 ―扇散らし―」

2016年1月2日(土)～2月28日(日)
●本館　14室

新春に因み、末広がりの意匠としてのめでたさや、絵替わりの楽しさに焦点をあてながら、扇散らし文様の作品を集めてご覧いただきます。扇は「末広」ともよばれる通り、末広がりの形が次第に栄えてゆくことを示す、おめでたいアイテムです。また扇散らしの文様は、扇の変化に富んだ形や、扇面に描き込まれた画中画の面白さが好まれて、鎌倉時代以降、さまざまな工芸品に用いられてきました。

特に蒔絵の手箱は、化粧道具など身の回りの細々とした道具を収める箱ですが、扇散らし文様の名品が知られています。手箱は居室に飾り置く晴れの調度でもあり、吉祥文様の作品が多く、扇散らしの文様もおめでたい意匠であったことが分かります。扇面に描き込まれた様々なモチーフを見比べるのも楽しく、扇散らしは一挙両得の文様です。

（竹内美奈子）

◎扇散蒔絵手箱
鎌倉～南北朝時代・14世紀
東京・大倉集古館蔵
蓋裏には、『和漢朗詠集』の祝賀の詩を表わす図柄が描かれています

（蓋裏）

書の最高峰、唐代の名品が勢ぞろい

特集「顔真卿と唐時代の書」

12月1日(火)～2016年1月31日(日)
●東洋館　8室

唐は、王羲之が活躍した東晋とともに、中国の歴史上、書がもっとも高い水準に到達しました。世界的にも有数の国威を誇った唐時代の書は、栄華を極めた唐文化を象徴するかのように、東晋とは異なる美しさが追求されました。

唐の太宗皇帝は王羲之の書を崇拝したため、王羲之の格調高い書風は朝野に浸透しました。唐の四大家と称される欧陽詢、虞世南、褚遂良、顔真卿が確立した美しい楷書は、今も多くの人たちに学ばれ続けています。

今年は顔真卿の没後1230年。そこで本展では顔真卿に焦点をあてるとともに、唐の名家の拓本や、敦煌から出土した気品高い宮廷写経など、書が最高峰に到達した唐時代の美しい優品を紹介します。台東区立書道博物館との連携企画第13弾です。

（富田淳）

（部分）
千福寺多宝塔碑
顔真卿筆　中国
唐時代・天宝11年（752）
高島菊次郎氏寄贈
顔真卿は伝統的な書法に立脚しながら、蚕頭燕尾（さんとうえんび）という独特の筆法によって、力強く親しみやすい楷書を創出しました

（部分）
九成宮醴泉銘
欧陽詢筆　中国
唐時代・貞観6年（632）個人蔵
展示期間：12月15日（火）～2016年1月31日（日）
欧陽詢はすみずみにまで神経の行き届いた、実に精緻な楷書の表現を完成させました

6代にわたる御用絵師一家の仕事を展覧

特集「江戸幕府御用絵師 板谷家の仕事」

2016年1月2日(土)～2月14日(日)
●平成館　企画展示室

江戸幕府の御用絵師住吉広守（1705～77）の弟子板谷慶舟広当（1730～97）は、住吉家を継いだ後、息子の広行に家督を譲って隠居しましたが、天明2年（1782）、新たに幕府から召し出されました。ここに江戸幕府御用絵師板谷家がはじまります。以降、板谷家は6代にわたり奥御用に応え、維新後も行政官として、また日本画家として平成まで絵画制作を続けました。

平成21年度に板谷家のご子孫より、同家に伝わる粉本・下絵類1万件あまりを「板谷家伝来資料」としてご寄贈いただいて以来、当館では6年ものあいだ、粉本を、ときに修理を加えながら、調査・整理してきました。この度の展示では、個人ご所蔵の作品によって板谷家歴代を紹介するとともに、本画制作と関わりのある下絵類を展示します。

（瀬谷愛）

昔噺桃太郎図
板谷広長筆　江戸時代
18～19世紀　個人蔵
桃の花の下に座る少年と猿、犬、雉。少年の右手には黄色いお団子が…！

羅陵王図（模本）
板谷広隆筆　板谷家伝来
江戸時代・18～19世紀
板谷廣起氏寄贈
3代目広隆が文化2年（1805）8月に模写した羅陵王図。原本は東京・根津美術館所蔵です

本館 日本に出会う

本館 9 室 能と歌舞伎

現代とは異なる風姿に注目！

「安土桃山時代の能装束」

2016年1月2日(土)～3月6日(日)

現代の能舞台で使用されている豪華絢爛な能装束は江戸時代中期以降、幕府の式楽の中で様式化されたものです。安土桃山時代には現代の様式とは異なった形とデザインを持つ装束が用いられていました。中国から輸入された金襴や黄緞などの高価な織物を用いた重厚な衣装、四季折々の風物や吉祥模様をモチーフとし、美しい刺繍や金箔の模様で埋め尽くした優美な風姿は、この時代の染織文化の特徴です。重要文化財5件をふくむ安土桃山時代の能装束を一堂にご覧いただく、またとない機会です。（小山弓弦葉）

（部分）

特 ◎縫箔 白地草花肩裾模様
奈良・金春座伝来
安土桃山時代・16世紀
梅・桜・薄・紅葉・雪持柳などの風物を刺繍で埋め尽くした模様です

本館 10 室 浮世絵と衣装

新年は北斎づくしで浮世絵はじめ

冨嶽三十六景・神奈川沖浪裏

2016年1月2日(土)～1月17日(日)

今年の浮世絵は葛飾北斎から。北斎は、アメリカのライフ誌が選んだ「この千年で最も重要な功績を残した世界の人物百人」に日本人として唯一選ばれています。中でも「冨嶽三十六景」のシリーズはよく知られており、「神奈川沖浪裏」は外国の美術館でもその館を代表する作品として紹介されています。縁起物ともされる富士山を描いたこのシリーズのほか、20歳のデビュー作である細判役者絵から、「九十老人卍筆」の落款がある亡くなる年に描かれた肉筆画まで、絵本なども加えた32件で70年の画歴をご覧ください。（田沢裕賀）

特 冨嶽三十六景・神奈川沖浪裏
葛飾北斎筆　江戸時代・19世紀
世界を魅了した北斎の代表作です

本館 15 室 歴史の記録

往時を伝える貴重な記録写真

特集「中国史跡写真」

2016年1月2日(土)～2月28日(日)

20世紀初頭から中国各地の史跡を踏査した建築史家関野貞は、その成果を写真として残しました。関野の弟子であった竹島卓一はその遺志を継いで1930年代に多くの遺跡や歴史的建造物を調査し、厖大な写真を撮影しました。80年の歳月を経て伝わったこれらの写真は竹島のご遺族のご厚意によって当館に寄贈され、今後歴史的な資料として活用することができるようになりました。この展示では中国を代表する史跡の往時を伝える4000枚以上の写真の一部をご紹介します。（田良島哲）

霊隠寺大殿前東塔細部
大正7年（1918）
竹島卓一氏寄贈
中国全土に及ぶ史跡、建造物の調査写真です。長く大切に伝えられてきました

本館 18 室 近代の美術

特別展開催前に見ておきたい

日本武尊

～2016年2月21日(日)

愛する夫の身代わりに、走水の海（浦賀水道）に入水した妃、弟橘比売を偲んで「あづまはや」と三度嘆いた悲話に基づく場面といわれています。従者の顔が暗く沈むのと対照的に光に照らされたヤマトタケルの姿がドラマチックな効果を生み出しています。ヤマトタケルの眼差しは、遠くを見つめて猛々しく、かつ悲壮感も漂います。青木は近代洋画の父・黒田清輝（本誌5ページ参照）に指導を受け、日本の神話や伝説を題材に情感豊かで独創的な世界観を創りあげながら、28歳という若さで世を去りました。（松嶋雅人）

特 日本武尊
青木繁筆　明治39年（1906）
印象的な目のヤマトタケルの顔は、青木が自らの顔をデッサンしたものをもとに描いています

術の流れ
戸まで、どる日本美術史

入口

本館 1-1 室
日本美術のあけぼの
── 縄文・弥生・古墳

本館 1-2 室
仏教の興隆
── 飛鳥・奈良

本館 2 室
国宝室

1-1 日本美術のあけぼの ── 縄文・弥生・古墳

11/25 水 ─ 2016/5/29 日

◎神人車馬画像鏡
奈良県河合町佐味田字加明・貝吹
佐味田宝塚古墳出土
古墳時代・4～5世紀〔中国製2～3世紀〕
三角の縁をもち中国の神仙世界がレリーフで表現されています

土偶　山梨県笛吹市御坂町上黒駒出土
縄文時代（中期）・前3000～前2000年
宮本直吉氏寄贈
ポーズ土偶とも呼ばれる、何かのしぐさを表わした土偶です

1-2 仏教の興隆──飛鳥・奈良

2016/4/10 日

◉延金（興福寺鎮壇具のうち）

奈良市興福寺中金堂須弥壇下出土
奈良時代・8世紀
金・銀・真珠・水晶・瑠璃や、除魔の呪術的効果があると信じられたものが埋められました

12/8 火 ─ 2016/2/28 日
菩薩立像
飛鳥時代・7世紀
霊木としても信仰されたクスノキ製。おっとりした顔立ちも魅力的です

2 国宝室

11/29 日 ◉千手観音像 →前号8ページ参照

12/1 火 ─ 12/13 日
◉観楓図屏風
狩野秀頼筆
室町～安土桃山時代・16世紀
紅葉狩りを楽しむ人々の様子が、いきいきと描かれています
（部分）

2016/1/19 火 ─ 2/14 日
◉善無畏像・慧文大師像
平安時代・11世紀
兵庫・一乗寺蔵

12/15 火 ─ 12/23 水・祝
◉秋冬山水図
雪舟等楊筆
室町時代・15世紀末～16世紀初
雪舟の山水画を代表する名品です
（冬景）

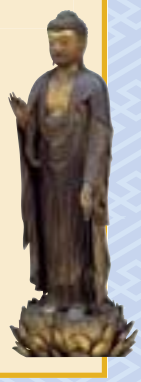
2016/1/2 土 ─ 1/17 日 侍 ◉松林図屏風 → 本誌3ページ参照

3-1 仏教の美術 ── 平安～室町

2016/1/19 火 ─ 2/28 日
仏涅槃図　鎌倉時代・14世紀

2016/1/17 日
金銅火焔宝珠形舎利容器
鎌倉時代・13世紀
釈迦の遺骨（舎利）に見立てた宝石やガラスの粒を納めています

2016/1/17 日
◎阿弥陀如来立像
永仙作　鎌倉時代・正嘉3年（1259）
安田善次郎氏寄贈
像内墨書銘から造像経緯が詳しくわかる、鎌倉時代の典型的来迎形阿弥陀如来立像です



4 茶の美術

2016/1/2 土 ─ 3/13 日

黄釉沙金袋水指
高取　江戸時代・17世紀
薄づくりですっきりと洗練された姿の高取焼の優品です

12/23 水・祝
色絵祥瑞文瓢形徳利
伊万里（祥瑞手）
江戸時代・17世紀
中国・景徳鎮窯の青花磁器の「祥瑞手」を華やかな色絵で写した伊万里の徳利

12/23 水・祝
◎太刀 大和物（号 獅子王）　平安時代・12世紀
◎黒漆太刀（◎太刀 大和物（号 獅子王）の拵）
鎌倉時代・13～14世紀
刀装は黒漆塗の質実な作風で、刀身に古くから付属する珍しい例です

3-3 禅と水墨画 ── 鎌倉～室町

2016/1/19 火 ─ 2/28 日
◎梅下寿老図　伝雪舟等楊筆　室町時代・15世紀

2016/1/2 土 ─ 1/17 日
侍 七言絶句「峯松」
一休宗純筆　室町時代・15世紀
絵画的な二大字と詩句で無人の山中にそびえる松の巨樹の姿を描きます

12/8 火 ─ 12/23 水・祝
杜甫騎驢図賛
一休宗純筆
室町時代・15世紀
広田松繁氏寄贈
一休は反骨の禅僧として知られます。ロバに乗る詩人杜甫は自らの姿でしょうか

12/6 日
◎太公望・文王図 → 前号8ページ参照

3-2 宮廷の美術 ── 平安～室町

2016/1/19 火 ─ 2/28 日
◎厳図屏風
室町時代・16世紀　岡崎正也氏寄贈

12/8 火 ─ 2016/1/17 日
◎紫式部日記絵巻断簡
鎌倉時代・13世紀
華やかな王朝の営みを鎌倉時代に描いた絵巻です

（部分）

12/6 日 ◎松浦宮物語　鎌倉時代・13世紀
金銀泥の下絵料紙に、藤原定家作とされる物語が書写されています

8-9ページに掲載の作品について、音声と文字による詳しい解説を、スマートフォン向けアプリ「トーハクなび」で公開しています。一部作品は対象外となりますので、展示室でトーハクなびマークを確認ください。　＊展示室で音声ガイドをご利用になる場合は、イヤフォンが必要です。　侍＝新春特別公開の作品です

7 屏風と襖絵
── 安土桃山・江戸

（部分）

12/8 火 ─ 12/23 水・祝

源氏物語図屏風（初音・若菜上）
土佐光起筆
江戸時代・17世紀
御簾ごしに源氏物語の世界を覗き見せる趣向はオドロキです！ その不思議な魅力をお楽しみください

（部分）

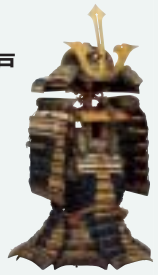
─ 12/6 日

◎山水図屏風
彭城百川筆
江戸時代・延享4年（1747）
大雅・蕪村に先駆けた草創期の南画家の代表作です

2016/1/2 土 ─ 1/24 日

侍 ◉楼閣山水図屏風
→本誌3ページ参照

5 6 武士の装い
── 平安～江戸



2016/1/2 土 ─ 3/21 月・祝

◎黒韋肩妻取威胴丸 室町時代・15世紀
濃紺と白、紅の色取りが華やかな胴丸で、兜と袖を完備している貴重な作品です

総合文化展 見どころ案内
本館2階
［12月○1月］
日本美
縄文から江
ほんものでた
必見

8-1 暮らしの調度
── 安土桃山・江戸

◎色絵月梅図茶壺
仁清
江戸時代・17世紀
清々しい新春に、この有名な茶壺と対面する喜びは格別です

2016/1/24 日

源氏絵彩色貝桶 江戸時代・17世紀
蛤は貞節の象徴とされ、貝桶は婚礼を象徴するおめでたい道具でした

8-2 書画の展開
── 安土桃山・江戸

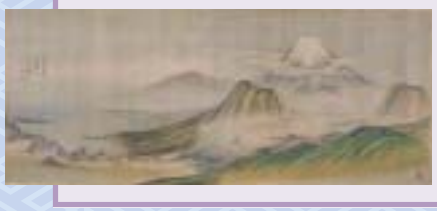
12/6 日

◎佐藤一斎（五十歳）像
渡辺崋山筆　江戸時代・文政4年（1821）
河田燕氏寄贈
真に迫る！！ 29歳の崋山が敬意をこめ写した50歳の学者の肖像

望岳賦 佐久間象山筆
江戸時代・19世紀
会津秀雄氏寄贈
富士山の美しさを力強い言葉遣いで描写した佐久間象山の代表作です

12/8 火 ─ 2016/1/24 日

日金山眺望富士山図
宋紫石筆　江戸時代・18世紀
伊豆半島の付け根の峠からの富士山、自然な視覚が見事です



9 能と歌舞伎

─ 12/23 水・祝

大奥で活躍したお狂言師・坂東三津江所用の、男性役の衣装を中心に展覧します。

羽織 白呉絽地龍波濤模様
江戸時代・19世紀
高木キヨウ氏寄贈
中国の皇帝の衣装からデザインを借り、いかにも武将にふさわしい力強さをアピールしています

2016/1/2 土 ─ 3/6 日

重要文化財5件を含める安土桃山時代の珍しい能装束の数々を展示します。

侍 ◎縫箔 茶地百合御所車模様
奈良・金春座伝来
安土桃山時代・16世紀
百合と御所車の大きさが逆転したデザインも、舞台衣装だからこそ！

【衣装】 ─ 12/23 水・祝

鴛鴦、紅葉や千鳥など、秋から冬にかけての小袖模様を紹介します。

◎小袖 黒綸子地波鴛鴦模様
江戸時代・17世紀
江戸時代前期のいわゆる「寛文小袖」は遊び心のある大胆な模様が特徴です

2016/1/2 土 ─ 3/6 日

吉祥文様を表わした華やかな女性の晴着を紹介します。

小袖 黒紅綸子地橘熨斗模様
江戸時代・17世紀
細かい鹿の子絞りのみで大胆に踊る熨斗模様を染め出しています

10 浮世絵と衣装
── 江戸

【浮世絵】 ─ 11/23 月・祝

春信、歌麿の美人図、北斎、広重の風景図などで浮世絵の流れを追います。

見返り美人図 →前号9ページ参照

─ 12/23 水・祝

勝川春英「忠臣蔵」シリーズ十一段を中心に、『仮名手本忠臣蔵』の世界をご覧ください。

三代目沢村宗十郎の大星由良之助
歌川豊国筆
江戸時代・寛政8年（1796）
筆彩を加えた豊国渾身の由良之助です

2016/1/2 土 ─ 1/17 日

北斎のデビューから最晩年作までをご覧ください。

侍 冨嶽三十六景・山下白雨
侍 冨嶽三十六景・凱風快晴
侍 冨嶽三十六景・神奈川沖浪裏
葛飾北斎筆
江戸時代・19世紀
新春は三役揃い踏みから

（山下白雨）

2016/1/19 火 ─ 2/14 日

北楼及び演劇図巻 菱川師宣筆　江戸時代・17世紀

東洋館
アジアを旅する

東洋館5室 「中国の陶磁」

高度な造形が生んだ獅子のすがた
白釉獅子枕

2016年1月2日(土)～3月13日(日)

新年より、東洋館5室では横河民輔氏(1864～1945)による寄贈品のなかから、中国・唐時代から清時代までの陶磁器の名品を紹介いたします。

こちらの作品は華北地方に広がった民窯、磁州窯において北宋時代(960～1127)につくられた陶製の枕です。ゆったりと伏臥する獅子。しかしその眼光は鋭く、いまにも動き出しそうな緊張感を漂わせています。生命力に満ち、さらに深い精神性をもたたえるその姿に、古代より連綿と続く、中国陶磁の造形技術の高さを見ることができるでしょう。

(三笠景子)

白釉獅子枕
中国・磁州窯　伝中国河北省鉅鹿出土　北宋時代・11～12世紀
横河民輔氏寄贈
河北・鉅鹿(きょろく)は北宋末に大洪水で沈んだ町。20世紀初頭に磁州窯を含む大量の陶磁器が発見されました

東洋館8室 「中国の絵画」

藍瑛派の全貌に迫る日本初の試み
特集「藍瑛とその師友 ―家族と工房―」

2016年1月2日(土)～2月14日(日)

(部分)

天目喬松図
藍瑛筆　明時代・崇禎2年(1629)
個人蔵
藍瑛はおもに山水を描き、呉派と浙派を折衷した新しい画風は、谷文晁や渡辺崋山らにも影響を与えました

藍瑛(1585～1664)は明時代の末から清時代の初めにかけて、銭塘(浙江省杭州)を中心に画を売って生計を立てた職業画家です。しかし、芸苑の領袖であった董其昌や、銭塘の文人たちとも親交し、文人的な画家でもありました。明の中頃に蘇州を中心に形成された呉派の影響を受けながらも、浙派と呼ばれる地元の画風をも盛り込み、個性的な様式を創出しました。その作風は、日本の画壇にも大きな影響を与えています。今回は藍瑛の作を中心に、その工房や一族の作品を集め、藍瑛の実像に迫ります。

(富田淳)

東洋館9室 「中国の漆工」

趣向を凝らした吉祥文様の漆工品
吉祥文彫彩漆六角盆

2016年1月13日(水)～4月10日(日)

明の嘉靖帝については道教を信奉していたことが知られ、そのために嘉靖年間(1522～1566)には趣向を凝らした吉祥文様の漆工品が制作されたと言われます。「吉祥文彫彩漆六角盆」もそのひとつです。六角形の盆の見込みには、太湖石の上にぐねぐねと幹を捩じらせた松が伸び広がり、その左右に梅と竹が生えています。「歳寒三友」を意味する松竹梅の意匠です。松の捩じれた幹は「寿」字を表わしています。技法は彫彩漆といい、朱漆・緑漆・黄漆などの色漆の層を塗り重ねて彫り出しています。

(猪熊兼樹)

吉祥文彫彩漆六角盆
「大明嘉靖年製」銘　中国 明時代・嘉靖年間(1522～66)
冬の寒中に色あせず花咲く松竹梅は「歳寒三友」という吉祥文様

東洋館13室 「アジアの染織」

インドで発達したカシミアとペイズリーの世界
「カシミヤ・ショール」

～2016年1月11日(月・祝)

ペイズリー文様刺繍縫い合わせカシミヤ
インド・カシミール　19世紀
ペイズリー模様を複雑に絡ませた模様は、ヨーロッパ向け輸出用に生産されました

(部分)

高い品質によって人気のあるカシミヤは、インド北西部・カシミール地方に生育する山羊の毛糸のことです。その代表的な模様はゾウリムシの形に似たペイズリー模様。「ペイズリー」とは、インドの毛織物をまねて機械で大量生産したイギリスの町の名前ですが、本来は、インド・ムガル王朝で発達した模様です。展示されているカシミヤ・ショールには、そのほとんどにペイズリー模様が施されています。インドでは生命観を表わす模様だったのです。様々な形のペイズリー模様を見比べながら展示をお楽しみください。

(小山弓弦葉)

●平成館 考古展示室

列島規模の交流を読む

特集「高知・愛媛の考古学」

12月1日(火)～2016年3月6日(日)

平成27年度考古資料相互活用事業の一環として、高知県と愛媛県からお借りした縄文時代晩期から古墳時代初頭の考古資料を紹介します。

縄文時代晩期は、東北地方の大洞式土器が四国や九州でもみられ、祈りの対象である土偶も西日本で独特に発展します。また、弥生時代には、各地に個性的な文化がみられる一方、北部九州産の銅矛が高知県や愛媛県にもたらされました。一方、古墳時代初頭には、西日本各地で地域間の交流が激しくなりました。畿内を中心とした新たな権力の出現によると考えられます。

両県の出土品は、高知・愛媛の地域性とともに、列島規模の大きな歴史のうねりをも反映しています。

（白井克也）

木胎漆器
高知県土佐市 居徳遺跡出土
縄文時代（晩期）・前1000～前400年　高知県立埋蔵文化財センター蔵
展示期間：2016年1月2日（土）～1月31日（日）
赤と黒で表現した花弁のような文様にご注目ください

卜骨
愛媛県松山市 宮前川北斎院遺跡津田第Ⅱ地区出土
古墳時代・4世紀
愛媛県教育委員会蔵
シカの肩甲骨を用いた占いの道具です

●平成館 考古展示室

見どころいっぱい！ 驚きの写実性

国宝 埴輪 挂甲の武人

通年

フル装備の武装具で威儀を正す武人像です。写実的な造形で、古墳時代甲冑の特色である腰のくびれや草摺下縁の腰札・裾札の段状の弯曲までも表現していることには驚かされます。これほど装備や服飾に至るまで見どころが多い人物埴輪はきわめて稀です。

この埴輪は郵便切手に4回も採用され、映画・大魔神シリーズやNHK教育テレビ（当時）の人気キャラクターなどのモデルであることをご存じの方も多いかと思います。なぜこの武人埴輪が広く国民の記憶に刻まれているのか。埴輪としての秀逸さ以上に、中世・近世の伝統的な武装具につながる姿に、人々が惹かれる点に秘密がありそうです。

詳しい解説も準備していますので、ぜひ展示室で確かめてみてください。

（古谷毅）

◉埴輪 挂甲の武人
群馬県太田市飯塚町出土
古墳時代・6世紀
背中の鞆や挂甲のくびれ、草摺の弯曲などのディテールにご注目

1000年後の未来にバトンタッチ！

保存と修理情報 32

守りながら展示する

10月より平成館の考古展示室がリニューアルオープンし、熊本・江田船山古墳出土の国宝「銀象嵌銘大刀」の展示ケースが新調されました。

展示されている大刀は、象嵌部分が変色しやすい脆弱な文化財です。このケースは、変色の原因となる酸素の濃度をできる限り低く維持するために、内部に窒素を充填する仕組みになっています。充填した窒素が流出しないようケースの密閉性を高める必要があるのですが、これがなかなか簡単ではありません。鉄板の接合やガラスの接着などに高度な技術を要するため、ドイツのメーカーで製作していただきました。また、内部に設置する計測機器類も精度の高いものを使用することで、酸素濃度の確認が詳細にできるようになり、今までよりも安全な管理が可能となりました。

このように高い技術を用いて完成したケースは、展示のための道具であるとともに、文化財の保管場所としても優れた空間です。実際にご覧いただき、保管場所としての一面にも注目していただけると幸いです。

（實井香那子）

完成したケースと内部の様子
（ボンベから窒素が供給されます）

日本での微調整作業の様子

ドイツ工場での展示ケースの点検

PART 1

知る楽しみ、学ぶ喜び

講座・講演会・ギャラリートーク

講演会

月例講演会「後藤一乗　幕末の華やかな刀装と絵図」

日時:12月5日(土)　13:30～15:00　講師:酒井元樹(保存修復室研究員)
後藤一乗は幕末の京都で刀装具を製作した名工です。本館14室で開かれている同タイトルの特集(～12月13日〈日〉)にあわせて一乗独特の華やかな作品を解説します。

連携講演会「顔真卿と唐時代の書ものがたり」　＊関連展示:本誌6ページ

日時:2016年1月16日(土)　13:30～15:00
講師:鍋島稲子(台東区立書道博物館主任研究員)、富田淳(企画課長)
今回で13回目を迎えた台東区立書道博物館との連携企画に関連し、没後1230年を迎える顔真卿、そして唐時代の書の魅力について語ります。

月例講演会「よろいをまとった仏たち」

日時:2016年1月23日(土)　13:30～15:00　講師:淺湫毅(教育講座室長)
四天王、八部衆、十二神将などの神将像は、守護神としての性格をあらわすために、よろいを身にまとい武器を手にしています。しかし、経典に規定がないためその姿は様々です。バラエティゆたかな神将像の世界をご覧いただきます。

＊会場は平成館大講堂、定員380名(先着順)、聴講無料(ただし、当日の入館料が必要)。
＊開場は開始の30分前予定。

ギャラリートーク

一遍とみる聖地と信仰

日時:12月1日(火)　14:00～14:30　本館特別2室
講師:瀬谷愛(保存修復室主任研究員)
国宝「一遍聖絵」には、時宗の祖・一遍(1239～89)が参詣した多くの社寺が描かれています。なぜ一遍はそこを訪れたのか、巡礼するようにみていきましょう。

顔真卿と唐時代の書　＊関連展示:本誌6ページ

日時:12月8日(火)　14:00～14:30　東洋館8室
講師:富田淳(企画課長)
唐の四大家の一人・顔真卿の没後1230年を記念して、顔真卿の魅力と唐時代の書の楽しさをたっぷりとご紹介いたします。

兵馬俑と漢・唐時代の陶俑

日時:12月15日(火)　14:00～14:30　東洋館シアター
講師:川村佳男(平常展調整室主任研究員)
始皇帝の兵馬俑(特別展「始皇帝と大兵馬俑」に展示)に徹底された写実表現と、漢・唐時代の陶俑がもつ華やかさとを対比しながら、陶俑の魅力に迫ります。

北斎の生涯と作品　＊関連展示:本誌7ページ

日時:2016年1月5日(火)　14:00～14:30　本館10室
講師:田沢裕賀(調査研究課長)
葛飾北斎のデビュー作から最晩年まで、70年の画業をたどります。

関野貞と竹島卓一の中国史跡写真　＊関連展示:本誌7ページ

日時:2016年1月19日(火)　14:00～14:30　本館15室
講師:田良島哲(博物館情報課長)
第二次大戦前、写真に記録された中国の遺跡や歴史的建造物のありさまを紹介します。

特集「寿ぎと絵替わりの美―扇散らし―」　＊関連展示:本誌6ページ

日時:2016年1月26日(火)　14:00～14:30
本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
講師:竹内奈美子(登録室長)
蒔絵手箱を中心に、扇散らし文様の魅力に迫ります。

東京藝術大学大学院インターンによるギャラリートーク

藝大生が様々な切り口で作品を紹介します。(各回15:30～15:50)

スリリングな仏画『二河白道図』

12/2(水)、3(木)、9(水)、10(木)
解説者: 杉原諒　本館特別2室(集合場所:本館1階エントランス)
火と水の河、間を通る白い細道。手に汗握る仏教絵画を紹介します。

アンコール時代の建築装飾

12/12(土)、13(日)、19(土)、20(日)
解説者:吉村苑子　東洋館11室(集合場所:東洋館1階エントランス)
アンコール時代の建築装飾について美術と建築の両観点からお話します。

『砧蒔絵硯箱』を読む

1/5(火)、13(水)、15(金)、21(木)
解説者:鈴木愛乃　本館12室(集合:本館1階エントランス)
繊細な意匠や技巧のなかに隠された、豊かな物語を読みときます。

青木繁、最後の神話画『日本武尊』

1/6(水)、26(火)、2/4(木)、10(水)
解説者:西尾真名　本館18室(集合:本館1階エントランス)
20世紀初頭の転換期にどのように神話画が描かれたのか、お話します。

鈴木長吉『鷲置物』

1/7(木)、30(土)、2/12(金)、19(金)
解説者: 李京林　本館18室(集合:本館1階エントランス)
超絶技巧と呼ばれるその技術・表現、制作の時代背景についてお話します。

着物からみる江戸時代の女性のファッション

1/8(金)、16(土)、3/1(火)、2(水)
解説者: 玉井あや　本館10室(集合場所:本館1階エントランス)
江戸初期の女性たちが楽しんだおしゃれを晴れ着からひも解きます。

五感で感じる!　道成寺『毘沙門天立像』

1/9(土)、22(金)、28(木)、29(金)
解説者:竹内佑騎　本館11室(集合場所:本館1階エントランス)
仏像の彫刻線に触れるように見る、彫る音を聞くように見るなど、五感を使って鑑賞します。

藍涛の『玉堂富貴図』

1/10(日)、17(日)、31(日)、2/11(木)
解説者:李趙雪　東洋館8室(集合場所:東洋館1階エントランス)
中国・清時代の名品を過去にタイムスリップする気持ちで紹介します。

『厩図屏風』の表現について

1/20(水)、24(日)、27(水)、2/9(火)
解説者:武内麻美　本館3室(集合場所:本館1階エントランス)
屏風における作品形式を手がかりに、『厩図屏風』の表現についてお話します。

前田青邨の目に映った中国石仏

1/23(土)、2/7(日)、18(木)、20(土)
解説者:王紫沁　本館18室(集合場所:本館1階エントランス)
前田青邨の描いた雲崗の大仏から、日本画家が中国に注いだ眼差しを考えます。

＊「東洋館シアター」とは、東洋館TNM&TOPPANミュージアムシアターのことです。
＊事前申込プログラムにお申し込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先に電話でお問い合わせください。TEL:03-3822-1111(代)
＊各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

PART 2

五感を使った美術体験

ワークショップ・ツアー

事前申込制 ［往復はがき］

バックヤードツアー 「保存と修理の現場へ行こう」

文化財の保存と修理についての解説および修理室等のバックヤードツアーを行います。書画や刀剣の修理室、さらに大型CTスキャナーなどの設備をご案内します。

日時：①2016年3月17日（木）　②2016年3月18日（金）　各回14：00～16：30
定員：①②ともに21名（応募者多数の場合は抽選）
参加費：無料（ただし、当日の入館料が必要）
申込方法：往復はがきでお申し込みください。「往信用裏面」に（1）氏名・ふりがな、（2）郵便番号・住所、（3）電話番号、（4）希望日（①3月17日・②3月18日のいずれか）を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。
＊1枚のはがきで①②どちらか一方、1名のみ申込可。必ず希望日をお書きください。
申込締切：①②ともに2月1日（月）必着
申込先：〒110-8712　東京都台東区上野公園13-9　東京国立博物館教育講座室「バックヤードツアー」係

事前申込制 ［ウェブサイトフォーム］

おとなのためのワークショップ・ファミリーワークショップ

「貝合せに挑戦」

本館に展示されている作品のモチーフを使って、オリジナルデザインの貝合せを作ってみましょう。絵具ではなく、サインペン・和紙などを使いますのでお気軽にご参加ください。

日時：①12月18日（金）　18：30～21：00
　　②12月19日（土）　10：00～12：30
会場：本館地下 みどりのライオン（教育普及スペース）
対象：①高校生以上　②小学生とその保護者
定員：①20名　②10組（応募者多数の場合には抽選）
参加費：無料（ただし、大学生以上は当日の入館料が必要）
申込方法：当館ウェブサイトのフォームでお申し込みください。
※1回の入力で①は2名まで、②は1組までお申込いただけます。
申込締切：①②ともに12月3日（木）必着
※インターネットからのお申込ができない方は、お電話でお問い合わせください。
TEL：03-3822-1111（代）教育普及室

PART 3

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

事前申込制 ［往復はがき、ウェブサイトフォーム］

こどもたちのアートスタジオ 勾玉（まがたま）作り体験

古代の勾玉について学んだ後、滑石を加工してオリジナルの勾玉を制作します。完成作品はお持ち帰りいただけます。

日時：2月7日（日）13：30～15：30
会場：本館地下 みどりのライオン（教育普及スペース）
対象：小学校3年生から中学生（保護者の見学も可）
参加費：無料（ただし、保護者は当日の入館料が必要）
定員：20名程度（応募者多数の場合は抽選）
申込方法：当館ウェブサイトの申込フォームか往復はがきでお申し込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に（1）参加者全員（2名まで）の氏名、ふりがな、お子さんの学年、（2）参加者全員の郵便番号・住所（2名の場合は、それぞれの住所を必ず明記してください）、（3）代表者の電話番号、（4）保護者が一緒の場合はその人数を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。※1枚のはがきで最大2名まで申込可。
申込締切：1月11日（月・祝）必着
申込先：〒110-8712　東京都台東区上野公園13-9
東京国立博物館ボランティア室「2月7日勾玉作り」係

東博ボランティアデー 2015

トーハクでは、館内で「より楽しく」「より快適に」過ごしていただくために、160名のボランティアが活動しています。12月5日（土）・6日（日）に開催する「ボランティアデー」では、通常ボランティアが行っているすべての催しと、ボランティアの活動内容について紹介する当日限定のツアーなどにご参加いただけます。

◆ボランティア活動紹介ツアー

実際の活動現場を現役ボランティアがご案内！　活動に興味をもっている方は、直接ボランティアと会話をするチャンスです。
時間：10:30 ～ 11:30、12:30 ～ 13:30（随時受付、ツアー時間は30分程度）
受付：本館1階エントランス（ミュージアムショップ側）

◆ボランティア募集説明会

平成28年度ボランティアへの応募をお考えの方に、概要や活動の仕組み、応募方法についてご説明します（説明会参加は応募条件ではありません）。
時間：10:00 ～ 10:30、12:00 ～ 12:30、16:00 ～ 16:30　（すべて同内容）
場所：本館地下みどりのライオン（教育普及スペース）

◆ボランティアによるガイドツアー

12月5日（土）：アートスタジオ、たてもの散歩ツアー、刀剣・武士の装いツアー、考古展示室ガイド、彫刻ガイド、樹木ツアー、庭園茶室ツアー、本館ハイライトツアー、陶磁ガイド、法隆寺宝物関連ガイド
12月6日（日）：東洋館ツアー、アートスタジオ、お茶会、たてもの散歩ツアー、本館ハイライトツアー、彫刻ガイド、近代の美術ガイド、浮世絵ガイド、考古展示室ガイド、英語ガイド

※ガイドツアーの集合場所、時間などは巻末カレンダー、チラシ、当館ウェブサイト、当日の館内案内をご覧ください。
※ボランティアデーの催しは、お茶会を除き参加無料。ただし、当日の入館料が必要。
※お茶会（先着18名）、庭園茶室ツアー（先着15名）は、開始30分前に集合場所で整理券を配布します。
※アートスタジオは事前申込制（申込は締切りました）。

トーハクくんの なるほー トーハク

ハンズオン、はじめました。

ハンズオンとは、レプリカなどを使って実際に持ったりさわったりすることで学べるプログラムです。
平成館考古展示室では、10月14日（水）のリニューアルオープンを機にハンズオンコーナーが登場。早速、トーハクくんが体験してきました。

土偶（どぐう）をもってみよう

レプリカの土偶を持ってみましょう。重い？ 軽い？ 持ってみて初めてわかることがあるはずです。

近くでみたら、土偶センパイの模様もよくみえるんだほ！

銅鐸（どうたく）をならしてみよう

もともとは、弥生時代のマツリで音を鳴らしていたという銅鐸。どんな音色だったのか、鳴らしてみてください。

つくられた時の銅鐸はピカピカだったんだほ

大判・小判・銭をさわってみよう

どれも江戸時代のお金です。実際に持ち歩くことを想像したら、現在のお金との違いに気が付くはず!?

手前の寛永通宝はレプリカじゃなくて本物なんだほ

ハンズオンはもうひとつ増える予定です。ご期待ください！

新春東博寄席2016

日時:2016年1月9日(土)　開場13:00　開演13:30
会場:平成館大講堂
出演:金原亭馬生、古今亭菊春、金原亭馬治、金原亭馬玉
料金:2,000円(全席自由)
※当日は、公演のチケットで総合文化展をご観覧いただけます。

〈チケットのお求め方法〉
○当館正門チケット売場での販売(開館日のみ)
　受付時間:9:30 ～閉館の30分前まで
○電話予約販売
　申込先:東京国立博物館　総務課イベント担当　TEL:03-3821-9270
　受付時間:月曜日～金曜日　9:30 ～ 17:00(土日・祝休日、年末年始は除く)
　引換方法:公演当日、9:30 ～当館正門観覧券売場にて現金引換えにてお渡しします。
○e-plus(イープラス)による販売
お問合せ:東京国立博物館　総務課イベント担当　TEL:03-3821-9270
＊月曜日～金曜日の9:30 ～ 17:00(土日・祝休日、年末年始は除く)
＊詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。

資料館より―デジタルライブラリーについて

今年3月に公開を開始した「東京国立博物館デジタルライブラリー」では、当館所蔵の貴重な和古書、洋古書および漢籍の全文画像をご覧いただけます。9月末現在、390件／673冊を収録しています。内容に加えて画像の鮮明さや使いやすさなどについて、研究者、愛好者の方々からご好評いただいています。美しい図版のある本も多数ありますので、ふだん古書に馴染みのない方も是非ご覧ください。今後は収録資料の拡充はもちろん、さらに使い勝手や親しみやすさを向上させていきたいと考えています。
URL　http://webarchives.tnm.jp/dlib/

休館・閉室情報

下記の展示館を一時閉室・休館しています。
本館11 ～ 16室、特別4室：12月14日(月) ～ 2016年1月1日(金・祝)まで閉室［展示環境改善のため］
本館17・18室：12月21日(月)～ 2016年1月1日(金・祝)まで閉室［展示環境改善のため］
表慶館：当面の間(特別展・イベント開催時を除く)［展示環境整備のため］
法隆寺宝物館：～ 2016年3月14日(月)［環境整備工事のため］
黒田記念館：2016年1月18日(月) ～ 6月13日(月)まで休館

本館特別４室に彫刻作品を展示しています

本館特別4室に、日本に大きな影響を与えたロダンと、日本近代彫刻の幕を開いた荻原守衛のブロンズ像を展示しています。ソファでくつろぎながら、ゆったりと作品を鑑賞できる環境になっています。ぜひ、お立ち寄りください。

国際シンポジウム　海外における日本美術コレクションの意義とその活用

日時:2016年1月30日(土)　10:00 ～ 16:45(開場9:30)＊休憩あり
会場:平成館大講堂
出演:〈基調講演1〉小林忠(岡田美術館館長)
〈基調講演2〉サミュエル・モース(アマースト大学教授)
〈発表者〉メンノ・フィツキ(アムステルダム国立美術館学芸員)、シネード・ヴィルバー(クリーブランド美術館学芸員)、田沢裕賀(当館調査研究課長)
聴講無料　＊同時通訳付き
定員:300名(事前申込制、先着順)
申込方法:当館ウェブサイトよりお申込ください。
お問合せ:東京国立博物館　総務課イベント担当　TEL:03-3821-9270
＊月曜日～金曜日の9:30 ～ 17:00(土日・祝休日、年末年始は除く)

東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同をいただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。

⦿年会費
〈団体〉プレミアム会員　1,000万円以上
　特別会員　100万円(1口)
　維持会員　20万円
〈個人〉プレミアム会員　100万円以上
　特別会員　20万円／維持会員　5万円

⦿主な特典
●特別展の内覧会にご招待
●東京国立博物館ニュースの送付

⦿申込方法
当館窓口のほか、当館ウェブサイト(クレジットカード決済)、銀行振込で随時受け付けています。

⦿お問合せ
東京国立博物館総務部 賛助会担当
電話　03-3822-1111(代)

東京国立博物館賛助会員　2015年11月12日現在

特別会員 団体
日本電設工業株式会社 様
株式会社 コア 様
大日本印刷株式会社 様
毎日新聞社 様
株式会社 大林組 様
朝日新聞社 様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
読売新聞社 様
三菱商事株式会社 様
凸版印刷株式会社 様
ブルガリ ジャパン株式会社 様
公益財団法人 東芝国際交流財団 様
日本写真印刷株式会社 様
日本ロレックス株式会社 様
サロン・ド・ソネット 様
株式会社 ミュージアムスタイルカフェ 様
株式会社 東芝 様
株式会社 みずほ銀行 様
一般財団法人 東京国立博物館協力会 様

維持会員 団体
株式会社 三冷社 様
株式会社 東京美術 様
日本通運株式会社 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設株式会社 様
株式会社 古美術藪本 様
謙慎書道会 様
近代書道研究所 様
日本畜産興業株式会社 様
株式会社 東京書芸館 様
インフォコム株式会社 様
学校法人 大勝院学園 様
有限会社 システム設計 様
TBS 様
株式会社 インターネットイニシアティブ 様
株式会社 小西美術工藝社 様
有限会社 ギャラリー竹柳堂 様
株式会社 育伸社 様
株式会社 モリサワ 様
アミ開発有限会社 様
光村図書出版株式会社 様
キョーリン製薬ホールディングス株式会社 様
株式会社 資生堂 様
株式会社 グラスバウハーン・ジャパン 様
株式会社 デュナミス 様
キッコーマン株式会社 様
公益社団法人 創玄書道会 様
朝陽書道会 様
一般社団法人 書芸文化院 様
株式会社 精養軒 様
株式会社 都市環境企画 様
全日本空輸株式会社 様
株式会社 清光社 様
有限会社 アトリエ・エビス 様
一般社団法人 学士会 様
公益財団法人 書道芸術院 様
アズビル株式会社 様
セコム株式会社 様

個人

プレミアム会員
岩間 良孝 様

特別会員
辻 泰二 様
谷川 紀彦 様
昆 政彦 様
田中 將介 様
堀内 洋志 様
林 秀彦 様

維持会員
木村 則子 様
髙木 聖鶴 様
伊藤 信彦 様
籔内 匡人 様
服部 悦子 様
岩沢 重美 様
髙田 朝子 様
齋藤 京子 様
齋藤 邦裕 様
和田 喜美子 様
佐々木 芳絵 様
藤原 紀男 様
中川 俊光 様
関谷 徳衛 様
高橋 守 様
小澤 桂一 様
上久保 のり子 様
櫛田 良豊 様
長谷川 英樹 様
池田 孝一 様
木村 剛 様
観世 あすか 様
星埜 由尚 様
渡辺 章 様
稲垣 哲行 様
飯岡 雄一 様
髙瀬 正樹 様
坂井 俊彦 様
寺浦 信之 様
髙木 美華子 様
吉原 知良 様
古屋 光夫 様
根田 穂美子 様
松本 澄子 様
是常 博 様
上野 孝一 様
北山 喜立 様
山田 泰子 様
栄田 陸子 様
岡田 博子 様
臼井 生三 様
津久井 秀郎 様
川澄 祐勝 様
神通 豊 様
神通 豊一 様
永久 幸範 様
石川 公子 様
青山 千代 様
永田 実香 様
西岡 康宏 様
友景 紀子 様
東野 治之 様
髙木 聖鶴 様
竹下 佳宏 様
野澤 智子 様
坂田 浩一 様
池谷 正夫 様
脇 素一郎 様
青山 道夫 様
木谷 騏巳郎 様
髙梨 兵左衛門 様
渡久地 ツル子 様
汐崎 浩正 様
堤 勝代 様
平井 千惠子 様
秦 芳彦 様
田中 千秋 様
小西 晫也 様
清川 勉 様
高見 康雄 様
田中 望 様
三井 速雄 様
永田 実香 様
吉田 靖 様
松本 雅彦 様
篠田 喜弘 様
片山 正紀 様
伊藤 喜雄 様
井上 雄吉 様
細川 要子 様
錦織 伸一 様
鈴木 幸一 様
秋元 文子 様
土師 詔三 様
上塚 建次 様
鏡 賢志 様
野口 圭也 様
渡邊 雪絵 様
佐藤 禎一 様
田中 榮二 様
山口 隆司 様
原 一之 様
会田 健一 様
桐畑 政義 様
相良 多恵子 様
鈴木 徹 様
今里 美幸 様
櫻井 恵 様
加藤 孝明 様
伊佐 健二 様
絹村 安代 様
福井 一夫 様
軽部 由香 様
木越 純 様
井上 保 様
田中 信 様
岡 靖子 様
古川 晴紀 様
菊地 昌弐 様
岩本 光雄 様
山本 隆幸 様
鈴木 春朝 様
山上 知子 様
名取 幸二 様
増渕 信義 様
要 英範 様
本條 陽子 様
片倉 正文 様
安田 格 様
原田 清朗 様
鳥山 玲 様
尾崎 邑鵬 様
栗山 哲夫 様
大口 樵翁 様
梅本 聖 様
榎本 享世 様
田頭 一舟 様
岡田 良雄 様
阿部 和加子 様
師田 久子 様
井茂 圭洞 様
高味 良信 様
廣田 穣 様
杉山 恭規 様
笹森 美子 様
高橋 明子 様
村井 明美 様
小塚 泰博 様
星 八郎 様
星 弘道 様
西永 義久 様
田中 節山 様
髙木 聖雨 様
田浦 宏己 様
山中 翠谷 様
荒木 章 様
関口 大志 様
柳村 衛 様
樺澤 剛志 様
小日向 志乃 様
松前 達郎 様
佐藤 貴士 様
横田 隆義 様
新保 幸男 様
山田 伊知郎 様
中野 俊介 様
手塚 眞由美 様
井出 宗則 様
土屋 和彦 様
碓田 榮一 様
加納 隼人 様
林 和人 様
清水 透石 様
野本 陽代 様
福田 倫子 様
佐藤 芙蓉 様
青山 慶示 様
谷内 英一 様
杭迫 柏樹 様
樋口 顕一 様
吉永 喜代子 様
長嶋 益子 様
鴇 晃秀 様
髙山 真行 様
渡辺 婦美 様
鈴木 溪泉 様
今村 正 様
李 雲莉 様
供田 扶美 様
福武 正廣 様
竹内 和世 様
岡野 一昭 様
伊藤 彰信 様
小林 浩和 様
加藤 正叙 様
藏口 真理 様
田中 文雄 様
宮下 雅博 様
川上 宗雪 様
一川 毅彦 様
田代 雅彦 様
中村 伸夫 様
髙橋 薫 様
清田 志郎 様
宮川 寛子 様
佐野 淑子 様
中村 光宏 様
小野 透 様
菅野 良子 様
中田 公人 様
中島 米治郎 様
田中 久丸 様
神田 靖男 様
森本 晃生 様
石飛 博光 様
清原 真里 様
角田 保行 様
平尾 佳淑 様
三浦 基広 様
金光 真佐一 様
田辺 修一 様
岩瀬 郵史 様
青木 瑞枝 様
川上 陽子 様
福代 暎山 様
竹内 明世 様
平田 恭之 様
羽石 史生 様
笠原 勉 様
長瀬 正行 様
武井 伸之 様
前田 寿子 様
高木 紘司 様
小河 恭子 様
田中 三伊 様
黒河 英俊 様
鈴木 健之 様
岩本 みち子 様
廣瀬 敏章 様
永野 剛志 様
堀川 佳津美 様
瀧本 篤 様
秋元 幸雄 様
中山 安弘 様
野田 和佳子 様
水田 渉子 様
吉原 剛一 様
春日 信彦 様
本吉 丈夫 様
重田 綾子 様
松原 聡 様
五嶋 滋之 様
藤原 秀文 様
島谷 桂子 様
笹川 統 様
髙木 紘司 様
檀上 静香 様
岩佐 惠子 様
竹中 洋介 様
杉浦 礼子 様
薄井 美香 様
向山 裕子 様
上島 啓祿 様
梅田 光昭 様
長井 真理 様
酒井 良哲 様
山神 英司 様
根岸 順 様
田中 眞知子 様
髙田 明典 様
森本 文子 様
田頭 敦子 様
北爪 由紀夫 様
沖 斗南 様
牧 裕子 様
青木 勝重 様
南 佳菜子 様
大塚 匠子 様
伊藤 隆 様
茂木 一郎 様
白坂 智惠子 様
周藤 寛幸 様
山見 勝彦 様
安齋 未来 様
庄司 浩 様
ほか101名2社、順不同

TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

①『伊能忠敬の日本図』　～12月23日(水･祝) 2016年1月2日(土)･3日(日)
②『国宝 八橋螺鈿蒔絵硯箱･重要文化財 色絵月梅図茶壺(仮)』
2016年1月6日(水)～4月17日(日)
料金:　一般･大学生･高校生:500円、小学生･中学生:300円、未就学児、障がい者及び同伴者1名:無料(1作品/1回あたり)

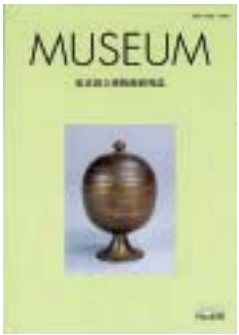
＊2016年1月2日(土)･3日(日)はお正月イベントとして、鑑賞無料です。①を上演します。詳細は本誌3ページ参照。
＊総合文化展とセット購入で一般:1,000円／大学生800円
＊所要時間は約40分です。鑑賞には当日の予約が必要です。
＊演目･スケジュールは都合により変更になる場合があります。
＊詳細はウェブサイトをご覧ください。　URL http://www.toppan-vr.jp/mt/

特別展「始皇帝と大兵馬俑」チケット、または2016年東京国立博物館カレンダープレゼント

本誌4ページでご紹介した特別展「始皇帝と大兵馬俑」(10月27日〈火〉～2016年2月21日〈日〉)の無料観覧券(10組20名様)または東京国立博物館のオリジナルカレンダー(5名様)を抽選でプレゼントします。締切は2016年1月25日(月)必着。

＊プレゼントの応募方法
はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢ならびにこの号で一番おもしろかったページならびに希望のプレゼントをご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。
〒110-8712　東京都台東区上野公園13-9
東京国立博物館 広報室「ニュース12･1月号」プレゼント係

『MUSEUM』658号(2015年10月15日発行)の掲載論文



①「百済の舎利荘厳美術を通じてみた法隆寺伝来の工芸作品 ―法隆寺献納宝物の脚付鋺と法隆寺五重塔の舎利瓶を中心に―」
三田覚之(当館教育普及室･工芸室研究員)
②「《報告》法隆寺伝来上代裂　絞纈･綾･錦等の幡足および天蓋垂飾他―平成二十三年度修理の成果―」沢田むつ代(当館客員研究員)

お問合せ:当館ミュージアムショップまたは中央公論事業出版(TEL:03-5244-5723)
定価:1,543円(税込)

ボランティア募集のお知らせ

平成28年度　東京国立博物館ボランティア募集

東京国立博物館をもっと身近に感じ、安心して楽しんでいただけるように、ボランティアが活躍しています。館内でのご案内や体験コーナーでの活動を中心に、バリアフリー対応、ワークショップ･講演会などの運営補助、保存修復事業の補助、スクールプログラムの実施、さらに、自主企画グループによるさまざまなガイドツアーも行っています。平成25年度登録のボランティアが任期満了するのに伴い、平成28年4月から3年間活動をされる方を新たに50名程度募集します。
応募受付は、12月10日(木)～2016年1月14日(木)(17:00必着)です。
募集要項は、館内インフォメーション等で配布、または当館ウェブサイト(http://www.tnm.jp/)でダウンロードできます。
あなたもトーハクでボランティアをしてみませんか?
＊お問合せ　ボランティア室　TEL:03-3822-1111(代)

東京国立博物館利用案内

開館時間:
9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)
- 12月まで、および2016年3月～5月の特別展開催期間中の金曜日は20:00まで
- 2016年3月～5月までの土･日曜、祝日は18:00まで

休館日:
月曜日(祝日･休日に当たる場合は開館、平日休館)
- 2016年3月28日(月)は開館

年末年始(12月24日〈木〉～2016年1月1日〈金･祝〉)
＊特別展等の開催に伴い、開館時間及び休館日は変更になることがあります。

総合文化展観覧料金
一般＝620(520)円　大学生＝410(310)円
- (　　)内は20名以上の団体料金
- 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料

最新情報は、ウェブサイト、Facebook、Twitter、メールマガジンで!
東京国立博物館ウェブサイト
http://www.tnm.jp/

＊各種イベントのお申込に際してご提供いただいた個人情報は、当該目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理･利用と保障に万全を尽くします。

東京国立博物館ニュースの定期購読

年間(6冊分)を1,000円の送料･事務費でご自宅にお届けします。パスポート･ベーシックと同時申し込みで100円割引(会員期間と同一期間の購読に限る)。
＊次号よりご送付希望の場合、締切は2016年1月10日(日)です。

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会　発行日から1年間有効

年会費	10,300円

＊継続入会(パスポート･ベーシックを含む)の場合は9,800円

【特典】東京･京都･奈良･九州国立博物館の総合文化展･平常展を何度でも観覧可能。特別展観覧券(12枚)の配布、そのほか本誌の定期郵送など様々な特典があります。

パスポート　発行日から1年間有効

一般	4,100円
29歳以下	3,000円
学生	2,500円

【特典】東京･京都･奈良･九州国立博物館の総合文化展･平常展を何度でも、特別展は1回ずつ計6回まで観覧可能です。

ベーシック　発行日から1年間有効

一般	1,500円
29歳以下	1,100円
学生	900円

【特典】東京国立博物館の総合文化展を何度でも観覧できます。

⊙お問合せ
電話03-3822-1111(代)友の会･パスポート担当
FAX03-3821-9680

▶各種お申込みは当館窓口･ウェブサイトまたは郵便振替で

[ウェブサイト]
申込フォームよりお申し込みください。クレジットカードによる電子決済をご利用いただけます。

[郵便振替でのお申込]
- 振替用紙に郵便番号･住所･氏名(ふりがな)･電話番号･職業･年齢･性別･メールアドレスを楷書でご記入ください。
- 振替用紙の半券が領収書になります。有効期間終了まで保管しておいてください。
- 振替手数料はお客様負担となります。
- ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

友の会
加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号00160-6-406616
- 振替用紙には申込区分(新規･継続)を記入し、[継続]の方は、有効期限内の会員証等のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

東京国立博物館ニュースの定期購読&パスポート･ベーシック
加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート&ニュース
口座番号00140-1-668060
- パスポート･ベーシックの申し込みの場合、振替用紙に申込区分([パスポート･ベーシック][一般･29歳以下･学生])を記入し、[29歳以下]･[学生]の方は、年齢のわかる身分証明証のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

＊一度納められた料金の払戻はいたしません。

表紙:猿候図(部分) 狩野山雪筆 江戸時代･17世紀 植松嘉代子氏寄贈(詳細は本誌2ページ)、ほか

2015・12　東京国立博物館 12月・1月の展示・催し物　2016・1

特別展「始皇帝と大兵馬俑」
秋の庭園開放

1 火	G「一遍とみる聖地と信仰」14:00 本館特別2室　建11:00
2 水	藝「スリリングな仏画『二河白道図』」15:30 本館特別2室
3 木	東11:00　藝「スリリングな仏画『二河白道図』」15:30 本館特別2室
4 金	夜間開館（20:00まで）
5 土	講「後藤一乗　幕末の華やかな刀装と絵図」13:30 平成館大講堂 東博ボランティアデー　建11:00　作11:00*1　刀11:40　考12:30 彫13:00　樹13:30　本14:00　庭14:00　陶14:40　法15:20
6 日	東博ボランティアデー　東10:30　作11:00*1　茶11:00、13:00　建11:20 本12:00　彫13:00　近13:30　浮14:00　考14:30　英15:00
7 月	休館日
8 火	G「顔真卿と唐時代の書」14:00 東洋館8室　建11:00
9 水	樹13:30　藝「スリリングな仏画『二河白道図』」15:30 本館特別2室
10 木	本14:00　庭14:00　彫15:00　藝「スリリングな仏画『二河白道図』」15:30 本館特別2室
11 金	夜間開館（20:00まで）　英14:00
12 土	陶14:30　藝「アンコール時代の建築装飾」15:30 東洋館11室
13 日	近13:00　浮14:00　藝「アンコール時代の建築装飾」15:30 東洋館11室
14 月	休館日
15 火	G「兵馬俑と漢・唐時代の陶俑」14:00 東洋館シアター
16 水	
17 木	
18 金	夜間開館（20:00まで）　W「貝合せに挑戦」18:30 本館地下教育普及スペース
19 土	【兵馬】シンポジウム「秦王朝と兵馬俑―発掘された歴史の実像―」10:00 平成館大講堂*1　W「貝合せに挑戦」10:00 本館地下教育普及スペース　建11:00 樹13:30　本14:00　藝「アンコール時代の建築装飾」15:30 東洋館11室
20 日	東11:00　英11:00　茶12:30、14:00　浮14:00　考14:30 藝「アンコール時代の建築装飾」15:30　東洋館11室
21 月	休館日
22 火	
23 水・祝	
24 木	休館日
25 金	休館日
26 土	休館日
27 日	休館日
28 月	休館日
29 火	休館日
30 水	休館日
31 木	休館日

「博物館に初もうで」

1 金・祝	休館日
2 土	新春イベント*2
3 日	新春イベント*2
4 月	休館日
5 火	G「北斎の生涯と作品」14:00 本館10室　建11:00 藝「『砧蒔絵硯箱』を読む」15:30　本館12室
6 水	藝「青木繁、最後の神話画『日本武尊』」15:30 本館18室
7 木	東11:00　本14:00　藝「鈴木長吉『鷲置物』」15:30 本館18室
8 金	英14:00　藝「着物からみる江戸時代の女性のファッション」15:30　本館10室
9 土	本12:00　陶14:30　藝「五感で感じる！ 道成寺『毘沙門天立像』」15:30 本館11室　新春東博寄席 13:30　平成館大講堂*3
10 日	近13:00　浮14:00　藝「藍涛の『玉堂富貴図』」15:30　東洋館8室
11 月・祝	
12 火	休館日
13 水	樹13:30　藝「『砧蒔絵硯箱』を読む」15:30 本館12室
14 木	本14:00　庭14:00
15 金	藝「『砧蒔絵硯箱』を読む」15:30　本館12室
16 土	講「顔真卿と唐時代の書ものがたり」13:30　平成館大講堂　建11:00（手話付）　樹13:30 本14:00　藝「着物からみる江戸時代の女性のファッション」15:30　本館10室
17 日	東11:00　英11:00　茶12:30、14:00　浮14:00　考14:30 藝「藍涛の『玉堂富貴図』」15:30　東洋館8室
18 月	休館日
19 火	G「関野貞と竹島卓一の中国史跡写真」14:00 本館15室
20 水	藝「『厩図屏風』の表現について」15:30 本館3室
21 木	彫11:00、15:00　藝「『砧蒔絵硯箱』を読む」15:30 本館12室
22 金	藝「五感で感じる！ 道成寺『毘沙門天立像』」15:30 本館11室
23 土	講「よろいをまとった仏たち」13:30　平成館大講堂　刀13:30 陶14:30　藝「前田青邨の目に映った中国石仏」15:30　本館18室
24 日	彫11:00　庭14:00　考14:30　藝「『厩図屏風』の表現について」15:30　本館3室
25 月	休館日
26 火	G「特集『寿ぎと絵替わりの美―扇散らし―』」14:00 本館地下教育普及スペース　藝「青木繁、最後の神話画『日本武尊』」15:30 本館18室
27 水	藝「『厩図屏風』の表現について」15:30　本館3室
28 木	本14:00　藝「五感で感じる！ 道成寺『毘沙門天立像』」15:30 本館11室
29 金	藝「五感で感じる！ 道成寺『毘沙門天立像』」15:30 本館11室
30 土	国際シンポジウム「海外における日本美術コレクションの意義とその活用」*4 10:00 平成館大講堂　藝「鈴木長吉『鷲置物』」15:30 本館18室
31 日	藝「藍涛の『玉堂富貴図』」15:30 東洋館8室

（2/21まで）

【兵馬】＝特別展「始皇帝と大兵馬俑」関連事業、詳細は本誌前号3ページ　＊1　事前申込制。申込は締め切りました
＊2　詳細は本誌2～3ページ　＊3　有料イベント。詳細は本誌14ページ　＊4　事前申込制。詳細は本誌14ページ

講＝月例講演会等、詳細は本誌12ページ
G＝ギャラリートーク、詳細は本誌12ページ
W＝おとなワークショップ、ファミリーワークショップ、詳細は本誌13ページ
＝託児サービス実施日（12:30～15:30）　事前予約制　有料
作＝ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ　事前申込制
本＝ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所：本館1階エントランス
浮＝ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所：本館1階エントランス
陶＝ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所：本館1階エントランス
彫＝ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所：本館1階エントランス
樹＝ボランティアによる樹木ツアー、集合場所：本館1階エントランス
考＝ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所：平成館考古展示室
茶＝ボランティアによる応挙館での茶会、集合場所：本館1階エントランス（参加費500円、先着18名、開始30分前に集合場所で整理券配布）
庭＝ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所：本館1階エントランス（先着15名、開始30分前に集合場所で整理券配布）
英＝ボランティアによる英語ガイド（日本美術の流れ）、集合場所：本館1階エントランス
建＝ボランティアによるたてもの散歩ツアー、集合場所：本館1階エントランス
近＝ボランティアによる近代の美術ガイド、集合場所：本館1階エントランス
刀＝ボランティアによる刀剣・武士の装いツアー、集合場所：本館1階エントランス
東＝ボランティアによる東洋館ツアー、集合場所：東洋館1階エントランス（木曜日は「仏像の旅」、日曜日は「東洋館ハイライト」〈12月6日は特別バージョン〉をご案内します）
法＝ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所：東洋館1階エントランス（休館中は東洋館で法隆寺宝物関連作品をご案内します）
藝＝藝大インターンによるギャラリートーク。詳細は本誌12ページ
※屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。

東京国立博物館ニュース　第734号　平成27年12月1日発行（隔月1回 偶数月発行）　編集／東京国立博物館 広報室　©東京国立博物館
発行／東京国立博物館　〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9　TEL 03-3822-1111（代表）＊ウェブサイト（URL）http://www.tnm.jp/　独立行政法人国立文化財機構ウェブサイト（URL）http://www.nich.go.jp　デザイン／D_CODE　制作／凸版印刷株式会社